



## 小児在宅ケア研究会会報 第7号

平成24年8月27日

### 【第8回小児在宅ケア研究会 年次集会のご報告】

平成24年6月23日（土）に、第8回小児在宅ケア研究会年次集会が、「すべての子どもたちが自分らしく生活できる社会であるために」をテーマに、名古屋大学大幸キャンパスで開催されました。今年度の年次集会には180名近くの方に参加頂き、様々な意見交換が行われました。

今年度の年次集会では、活動報告2件と事例報告1件の他に、京都橘大学看護学部の河原宣子先生による災害に関連した教育講演と、名古屋大学大学院医学系研究科の三浦清邦先生による重症心身障がい児の医療に関する特別講演が行われました。

活動報告では、小児在宅ケアコーディネーター研修会の修了生の方から、修了生が現在実践の場でどのような事を考えながら活動をしているのかといった報告が行われました。この報告では、小児の在宅ケアに関心をもっているけれども病院の状況で関わる事が難しいというジレンマの中で、何とかしたいと思っている看護師の方の意気込みを感じることができました。またもう1件の活動報告では、在宅で医療的な処置やケアを行っているお子さんの母親に対し面接調査を行い、退院時の思いや在宅ケアを始めたころの思い、そして現在の思いをまとめられたものが、報告されました。入院中から退院して在宅ケアが軌道に乗るまでの間の母親の複雑な気持ちが明らかにされており、母親や家族の思いを大切に、看護を行っていく事の重要性を感じることができました。

事例報告では、障がいをもつお子さんの母親が、お子さんの胃瘻造設を決意するまでの間の気持ちの揺れ動きについての報告が行われました。胃瘻造設の決意は家族にとって非常に大きな問題であり、家族の気持ちの揺れ動きによりそいながら、必要な援助を行っていく事の大切さを感じることができました。

教育講演では、「災害への備え～医療的ケアが必要な大人の経験から」というテーマで、在宅療養者への訪問活動を通して、危機的状況に対する対応を検討し、災害対策マニュアルの作成やネットワークづくりを積極的にされている、河原先生のお話をお聞きする事ができました。災害に関する関心が高まっている今こそ、様々な専門職や行政などと連携して、災害による被害を少しでも軽減できるよう、活動をする必要があるということ、参加者の皆様とともに再確認ができたと思います。

最後に特別講演では、「重症心身障がい児の医療の現状と愛知県の取り組み」というテーマで、名古屋大学で行われている学生教育の実際、



先生が取り組まれている小児在宅医療に関する活動、そして、重症心身障がい児の医療の現状などのお話をお聞きしました。その中では、様々な関係機関に所属する人々などと連携を取りながら、家での生活を支えていく事の重要性を感じる事ができました。

年次集会の中では様々な意見交換が行われましたが、健康に課題をもつ人々に様々な立場で熱意をもって活躍されている方々のお話を聞き、私を含め参加された方が多くの刺激を受けられたのではないかと思います。

今回参加していただいた方のうち 136 名の方がアンケートにもご協力くださいました。参加者の半数近くが東海地方（愛知・静岡・岐阜・三重）の方でしたが、四国や九州、東北など、遠くからご参加いただいたかたもいらっしゃいました。経験年数は 11～20 年の方が最も多く参加されていましたが（38.8%）、5 年目以下と経験年数の短い方々の参加も多くなる傾向がみられました。全体の感想としては、約 90%の方に何らかの形で満足をしていただけたようで、教育講演や特別講演に対する感想等が多くみられました。今後の研究会活動への要望等も様々ないただいておりますので、この皆様からの頂きました貴重なご意見を、今後の活動に反映させていきたいと思っております。アンケートにご協力いただきました皆様、ありがとうございました。アンケートの詳細は、資料として同封させていただきますのでご覧ください。



第 8 回年小児在宅ケア研究会年次集会は、多くの皆様のご協力のもと無事に終了する事ができました。ありがとうございました。また来年の年次集会で皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

#### 【第 8 回小児在宅ケア研究会総会のご報告】

第 8 回小児在宅ケア研究会総会が、年次集会と同日の 6 月 23 日に開催されました。報告事項として、現在の会員数（116 名）の報告、平成 23 年度の活動報告の報告が行われました。その後審議事項で、平成 23 年度の決算・会計監査、役員・運営委員の変更、平成 24 年度の活動計画（案）、平成 24 年度の予算（案）に関する審議が行われ、全ての事項について、承認が得られました。詳しくは、同封させていただきました総会資料をご覧ください。また、会員の方で連絡先等に変更がある場合は、研究会事務局までお知らせください。

8 月も終わりとなりましたが、まだまだ暑い日が続いております。お身体にご自愛ください。

（文責：堀妙子）

